

和光市政を耕す

たがや

市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL.

28

たけちゃん通信

平成29年
3月定例会
議会報告

東日本大震災から早くも6年が経ち、被災地では着実に復興・復旧が進んでいますが、いまだに避難所生活を余儀なくされている方もおられます。被災された皆様ならびに、そのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興・復旧を心よりお祈り申し上げます。

平成29年和光市議会3月定例会（議会）が、2月26日（日）より会期27日間の日程で開会し3月24日（金）に閉会致しました。議案第1号から議案第28号までの28議案が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。

和光市
イメージキャラクター
「わこつち」和光市
キャラクター
「さつきちゃん」

施政方針について

平成29年度 施政方針が3月定例会（議会）第1日目に行われました。施政方針とは、平成29年度1年間の市長の市政運営に対する重要施策や予算編成の基本方針を説明するものです。3月定例会は、施政方針演説が行われるため、年に一度、日曜日に開会致します。施政方針の内容は、和光市ホームページ（→市政を身近に→市の基本政策・行政改革・行政の連携→和光市の行政経営（マネジメントシステム）の中の「方針」→施政方針）をご覧ください。

平成29年埼玉県和光市一般会計予算（予算規模）について

一般会計	245億3,500万円	(対前年度比 0,04%増)
国民健康保険特別会計	79億7,621万3千円	(対前年度比 1,7%増)
後期高齢者医療特別会計	6億7,556万5千円	(対前年度比 3,4%増)
介護保険特別会計	34億4,527万2千円	(対前年度比 5,1%増)
和光都市計画事業和光市駅北口 土地区画整理事業特別会計	11億5,229万3千円	(対前年度比 43,2%増)
水道事業会計	17億61万円	(対前年度比 22,5%減)
下水道事業特別会計	15億7,699万2千円	(対前年度比 9,8%減)

平成29年度の
主な事業

市内街路灯のLED化・送迎保育ステーション事業・（仮称）上谷津公園整備事業・庁舎防災拠点整備事業・第10回アジア・エアガン選手権大会2017・粗大ごみ有料シールの導入など。



主な議案について

議案第5号

「第四次和光市総合振興計画基本構想の一部を改定することについて」

第四次和光市総合振興計画基本構想に掲げた施策2「交通の利便性を生かした産業拠点の整備」に(仮称)和光北インター東部地区土地区画整理事業に関することを追加し改定するものです。

議案第10号

「和光市まちづくり寄附条例の一部を改正する条例を定めることについて」

和光市まちづくり寄附制度においては、「寄付者の意向を政策に反映させることにより、寄附を通じた多様な人々の参加による活力あるまちづくりを実現すること」を目的としています。また、寄附の受入方法及び返礼品の拡充により寄付の件数が増加する一方で、寄附の用途である寄附事業を指定しない寄附の件数も増加しています。このことから、より魅力的で寄附をしやすい寄附制度とするために、改正するものです。

【コメント】この条例の第2条第1項第6号に「市長が必要と認める事業」が追加されました。市民提案として、その事業を担当する課と事前に調整し事業決定され、市長が認めれば、ふる里納税を財源に事業ができることとなります。

議案第14号

「和光市消防団条例の一部を改正する条例を定めることについて」

特別地方公務員としての消防団の身分を明確にするために、欠格条項及び分限に関する規定を追加し、条文整理を行うものです。

吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



国道254号 和光富士見バイパス延伸計画について

【質問】 国道254号バイパスの延伸計画対象地域では、今、バイパスの延伸計画について、大変問題になっています。和光市の案、参考例として土地利用計画図が地権者に示されましたが、このバイパスルートについて議論がされています。このバイパス計画については、埼玉県が決めることとなります。埼玉県から対象地域住民の皆さんへしっかりと説明して頂き、また、対象地域住民の皆さんから出ている道路計画についての要望についてはしっかりと埼玉県に伝えて欲しいと思います。一方で、**バイパスが都内まで延伸しなければ、生活道路に交通が流入し、この地域の交通状況は大変なことになるのも確実です。現在もダンパーカーなどが頻繁に下新倉小学校通学路や生活道路を通過している状況です。**まずは、国道254号バイパスの都内延伸計画について、現在に至るまでの経緯について伺う。

【答弁】 平成27年12月に東京都における都市計画道路の整備方針(第4次事業化計画)(案)が公表されパブリックコメントが行われた結果、平成28年3月に正式公表されました。この中で、都県境における道路網の拡充を図るため、埼玉県和光市方面との連携強化に向けた検討を進めていくことが明記されました。市といたしましても、まちづくりの可能性を検討し始めると共に、平成28年1月から地元の意向確認調査に着手しております。

【質問】 今後の県との協議の進め方について伺う。

【答弁】 国道254号バイパスの都内延伸の説明をするにあたり、バイパスが整備されなかった場合の地域に与える影響やバイパスの整備効果など、地元の皆様に国道254号バイパスの必要性が御理解頂けるような説明をして頂くよう、埼玉県と充分協議を行ってまいります。

【質問】 当市では都市計画道路などの整備は、残地を残さないために、区画整理事業と併せて行うとされていますので、そのようなこともしっかりと説明して行く必要があると思います。254号バイパスの延伸と区画整理事業について一つの事業として説明して行くのかを伺う。

【答弁】 国道254号バイパスの都内延伸と区画整理事業の必要性について、双方の御理解を頂いていくこととなりますが、合意形成を図る中で、バイパスの議論と区画整理の議論はしっかりと整理して、御理解を頂いていく必要があると考えております。

【コメント】 現在はまだ埼玉県からルートなどの説明は一切ありませんが、国道254号バイパスの必要性

について対象地域住民の皆さんに説明し理解を得て、進めていくことが大切だと思います。また、対象地域住民の皆さんの要望・意見をしっかりと埼玉県に伝えて欲しいと思います。今、**説明不足により対象地域住民の皆さんは大変不安を感じている**と思います、今後丁寧な説明をしっかりとして頂きますようお願い致します。

※下新倉小学校を分断することなく、下新倉小学校を東側に過ぎてから、レインボーモータースクール交差点に接続するのが望ましいと思っています。



白子小学校プレハブ校舎について

【質問】 下新倉小学校も昨年4月に開校し、白子小学校の児童も半数となりました。下新倉小学校建設の目的は白子小学校のマンモス化改善とプレハブ校舎の撤去をすることでもありました。下新倉小学校が開校し教室にも余裕があるのに、一年が経とうとしていますが、いまだに撤去されていません。撤去工事計画を伺う。

【答弁】 白子小学校プレハブ校舎につきましては、解体を考えておりますが、現時点におきましては、非構造部材耐震化工事、環境衛生整備工事等、児童が安全な教育環境の中で教育を受けられる為の工事を優先しております。

ただ、プレハブ校舎を解体しグラウンドが広くなることにより、児童の活動範囲が広がり、体育授業の充実等の効果も期待できるものと認識しておりますので、よく検討し対応してまいります。

【コメント】 白子小学校も生徒数は半減し運動会などの校庭での行事などは、多少余裕が感じられますが、やはりプレハブ校舎があるため、陸上競技などのトラックにはかなり無理があります。また、昨年、読売ジャイアンツにドラフト3位で入団した。谷岡竜平投手も白小クラブで、白子小学校の校庭で練習をしていました。少年野球などの練習にもかなりの無理があります。一日も早くプレハブ校舎を撤去していただき、広々とした校庭を取り戻して頂きますようお願い致します。是非来年の卒業式には、すっきりとして頂きますように重ねてお願い致します。



下新倉小学校用地について

【質問】 先の議会で、下新倉小学校隣地の産業廃棄物処理業者が撤去し売却をする話があるので、取得したらと質問しましたが、産業廃棄物処理場についての用地取得に対しての考えを伺う。

【答弁】 用地取得に当たっては、その目的が学校建設などの場合は、地方債の活用もできるが、普通財産としての用地取得になるため、財源確保が課題になっています。

【コメント】 学校建設特別委員会では、下新倉小学校建設用地の取得が難しいのと、早く小学校建設を進めなければとのことで、予定面積1万6,000㎡のところ、3,000㎡を除いて進めていき、今後この3,000㎡については、粘り強く交渉し、取得していくことになっていました。建設の段階で、多くの保護者の方から、産業廃棄物処理場、資材置き場を何とか移動して欲しいとの声がたくさんありました。産業廃棄物処理場、資材置き場を無くして頂き、学校環境の整備をしっかりとして頂きますようお願い致します。



子育て支援について

- ①「希望出生率1.8」にするための市の取り組み状況について
 - ②「待機児童数」は何名となるのか、今後の見込みや傾向について
 - ③図書館や公民館などの生涯学習施設において、子育て中の女性が、託児サービスなどを気軽に利用できる取組みはあるのか？
- などについて質問しました。

【コメント】 全国の自治体における「子育て女性に対する支援」としては、保育所の整備を筆頭に、大幅に不足しているといわれている保育士の確保や、延長保育・休日保育の拡充、いざという時のための病児・病後児保育の充実など、主に、「仕事」と「子育て」を円滑に両立させるための事業が挙げられます。子育て中の女性が安心して仕事を続ける、または、いったん職を離れた後、



再就職するための支援策を講じるといった施策も重要であります、また、子育て中の女性が、交流できたり、悩み事の相談や、息抜きできる場所などの必要性も高まっています。子育て女性に対する支援をしっかりと、出生率を上げる施策を今後も着実、かつ継続的に積極的に行なって頂きますようお願い致します。



保育の必要性の基準について

- ①基準点、加点基準は近隣市と違うところがあるのか？
- ②基準点、加点基準の見直しは行っているのか？
- ③女性の比率の高い職業で、保育士や看護師、介護士など、
当市でも人材確保が難しくなっている保護者を優先保育として認めることは出来ないか？
などについて質問しました。

【コメント】 保育の必要性の認定の中で、当市では保護者のいずれもが保育の必要性の認定事由に該当する場合で、かつ、保育を必要とする就学前の子どもが、1から9の事由に該当するときは、優先的に保育を行う必要があると認めますとあります。事由9のその他市長が認める事項で、今人材確保が難しくなっている保育士や看護師、介護士など優先保育として認めることも大切だと思っています。今後検討して頂きますようお願い致します。

3月13日現在の待機児童数は26人です。



アジア・エアガン選手権大会支援「おもてなし」について

第10回アジア・エアガン選手権大会が今年12月に当市で開催されます。300名の選手が出場し、エアライフル競技ならびにエアピストル競技におけるその年のアジアチャンピオンを決定する大会です。この大会の市民応援団が、大会に来られた方々に「心に残るおもてなし」を企画しています、市と市民応援団と連携して「心に残るおもてなし」を企画することは出来るか、などについて質問しました。

【コメント】 2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、陸上自衛隊朝霞訓練場が射撃会場となっています。協会は2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた運営のリハーサルとしても位置付けているようです。東京オリンピックへの期待感とともに競技自体の認知促進を高めるとともに、諸外国の射撃競技関係者やファンの皆様に「心に残るおもてなし」で迎え入れ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの成功に結びつけていくためにも、成功裏に終わらせることが大切です。市民団体応援団と共に「心に残るおもてなし」をして盛り上げて頂きますようお願い致します。



☆その他、上下水道管布設替え状況と今後の計画について、いじめ防止対策について、コミュニティ・スクールの進捗状況について質問しました。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでも遠慮なく相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会 会長 柳下 茂
〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1
TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
<http://www.takechan-yoshida.jp>

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス